サウンドメディア論第3回(前半)

前回の復習

- ▶ 音とは?
 - 「空気の中を伝わる粗密波である」
 - 「気圧の連続的な微小変化である」
 - 「音とは空気の振動である」
- ▶ 周波数とは?
 - 「1秒間に波が振動する回数」
- > 楽器と音色
 - 「音色の違いは倍音の違いに由来する」

目次

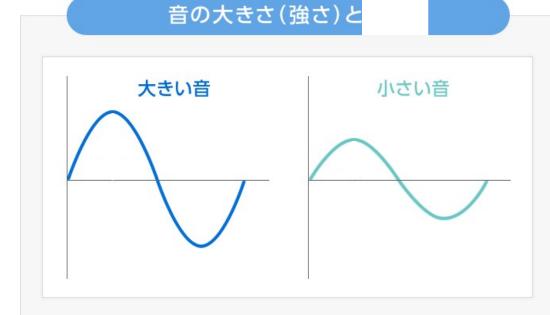
▶音の強弱

▶音圧レベル



音の強弱

- ▶ Q. 音の強弱はどうやって決まる?
- **A**.
- 注意音の強弱 ≠ 音の大小(物理量) (心理量)



音の強さ(
)が2倍になっても、

音の大きさは2倍に聞こえない! (フェヒナーの法則)

音の強弱

▶ 音とは? → 気圧の連続的な微小変化である

→ 音が鳴ると気圧が変わる

▶ 気圧:気体の圧力、単位はパスカル(Pa)

▶ 音圧:音の気圧

可聴範囲 最大:20000000µPa = 200Pa

最小: $20\mu Pa = 0.0000002Pa(2 \times 10^{-7}Pa)$

気圧と音圧

- ▶ Q. 1気圧(気圧の標準値)はどのくらい?A.
- ▶ Q. 1hPa = 何Pa? A.
- ▶ Q. 1気圧は何Pa? ^

音圧レベルとデシベル

▶音の強さと音圧の関係

$$J = P^2 / pc$$

J:音の強さ (W/m²)

P:音圧(Pa)

p:空気の密度 (kg/m³)

c:空気中の音速(m/s)

▶ 音圧の最小と最大の比 = 20µPa: 200000000µPa

= 1:1000万

▶ 音の強さの最小と最大の比 = 1:100京

参考: https://monozukuri.sqcd-aid.com/

音圧レベルとデシベル

▶ 音圧レベル:音圧の大きさを対数で表示させた量 単位はデシベル(dB)

$$L_p = 20 \times \log_{10}(P_1/P_0)$$

L_p: 音圧レベル (dB)

P₁:音圧(Pa)

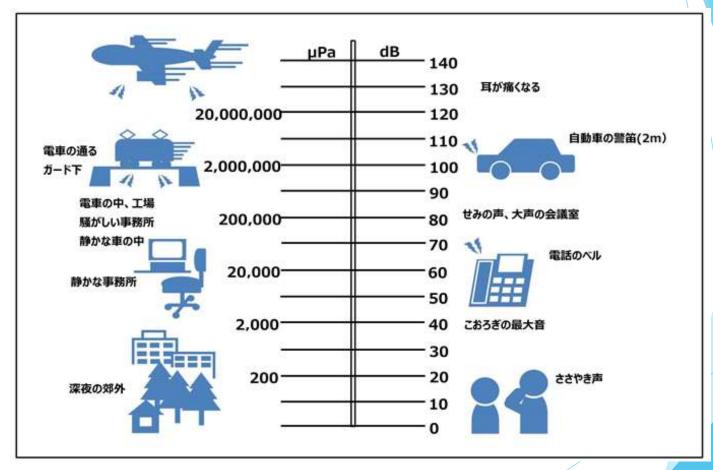
P₀: 基本音圧(可聴音圧の最小値(20µPa))

音圧レベルとデシベル

► Q1. 最小可聴値(20µPa) は何dB? A1.

► Q2. 20dBは何Pa? A2.

音圧とデシベル



参考: http://www.hitachi-ies-ds.co.jp/service/env_analysis/investigation/noise_vibration.html

音の進み方

▶ 音は**反射**、干渉、回折する

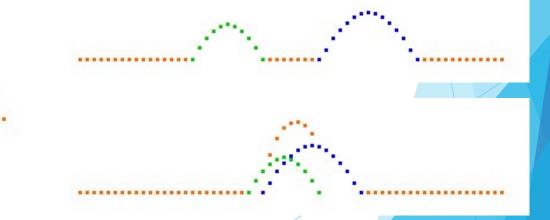
▶ 反射:物などに当たって跳ね返る反応

▶ 例: やまびこ 「ヤッホー」の音が山に当たって反射する

参考: https://chuugakurika.com/2018/06/06/post-2782/

音の進み方

- ▶音は反射、干渉、回折、する
- ▶ 干渉: 音の重ね合わせによって音の聞こえ方が変わる反応
- ▶音の重ね合わせ

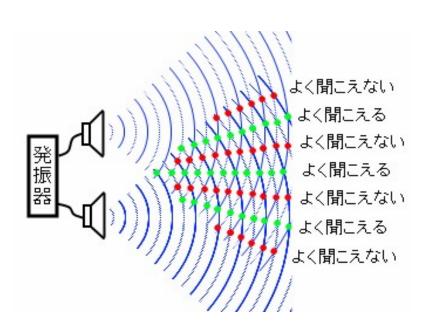


参考: http://www.coronasha.co.jp/static/00891/index.html

音の進み方(干渉について)

▶ 位相:ぶつかり合った波のタイミング

同じ位相なら強め合い、逆の位相なら弱め合う



動画:

https://www.youtube.com/
watch?v=PKHX7MvcfjA

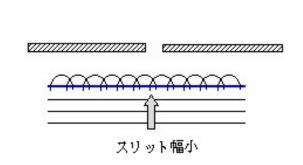
参考: http://www.wakariyasui.sakura.ne.jp/p/wave/onnpa/otohousoku.html

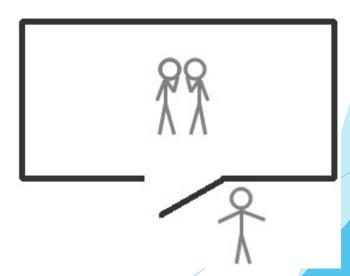
音の進み方

▶音は反射、干渉、回折する

▶回折:波が障害物を回り込んで進んでいく反応

▶ 例: 少しだけドアの開いた部屋

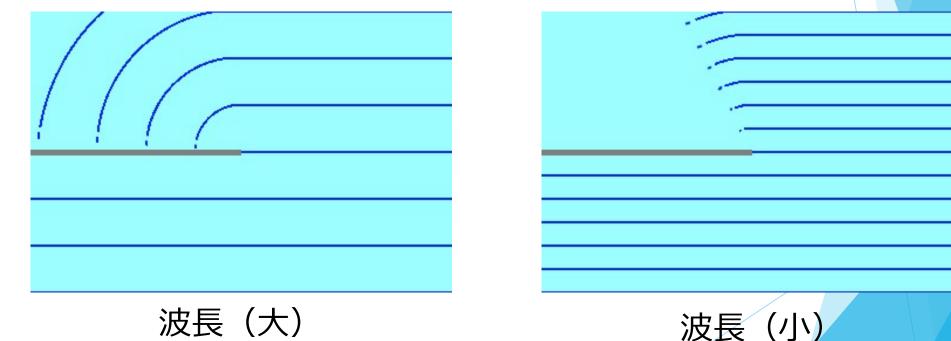




参考: http://www15.wind.ne.jp/~Glauben_leben/Buturi/Hadou/Hadoubase2.htm

音の進み方(回折について)

▶回折は波長が大きいほど起こりやすい (高い声より低い声の方が回折が起こりやすい)



参考:http://www.wakariyasui.sakura.ne.jp/p/wave/housoku/kaisetu.html

まとめ (前半)

- ▶ 音の強弱 → 振幅の大小
- ▶ 音圧レベル → 音圧の対数表示
- ▶音は反射、回折、干渉する